

平成19年度 関西電カグループ経営計画 説明会

2007年3月28日

関西電力株式会社

※本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。

目次

■平成19年度関西電力グループ経営計画について

○ 平成19(2007)年度経営計画のポイント	1	
○ グループの総合力によるお客さま価値の創造	2	~ 10
(電気事業/総合エネルギー/情報通信/生活アメニティ/海外事業)		
○ 2007年度供給計画	11	~ 12
(電源開発計画/電力需給計画)		
○ CO ₂ 排出原単位の低減	13	
○ 設備投資額の推移	14	
○ 設備投資額の前回計画との比較(中長期計画関連) ...	15	
○ 財務体質の強化	16	

【参考】

設備投資計画(単独)

2007年度経営計画の位置づけ

2004年3月に策定した「関西電力グループ経営ビジョン」に掲げる、「お客さま満足No. 1企業」の実現に向け、中長期を見据えた具体的実行計画として、昨年度に引き続き、CSRを軸に「安全最優先・お客さま価値の創造・人づくり」の3つのアクションプランを展開し、関西電力グループとその従業員の成長の好循環を生み出す。

中長期を見据え、関西電力グループ全体の事業経営の質を高めつつ、さらに成長を押し上げる取組みを拡大。

CSRを軸とした事業活動

一人ひとりの成長を支えるしくみづくり

人材育成・技術継承

能力を最大限発揮できる
人材マネジメント

安心して働けるしくみ

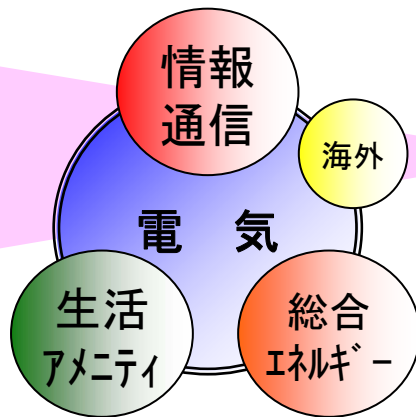
安全最優先の組織風土の醸成

安全最優先の意識改革

社内外の
コミュニケーション

適正な業務遂行の徹底

グループの総合力による
お客さま価値の創造



全ての取組みの原動力

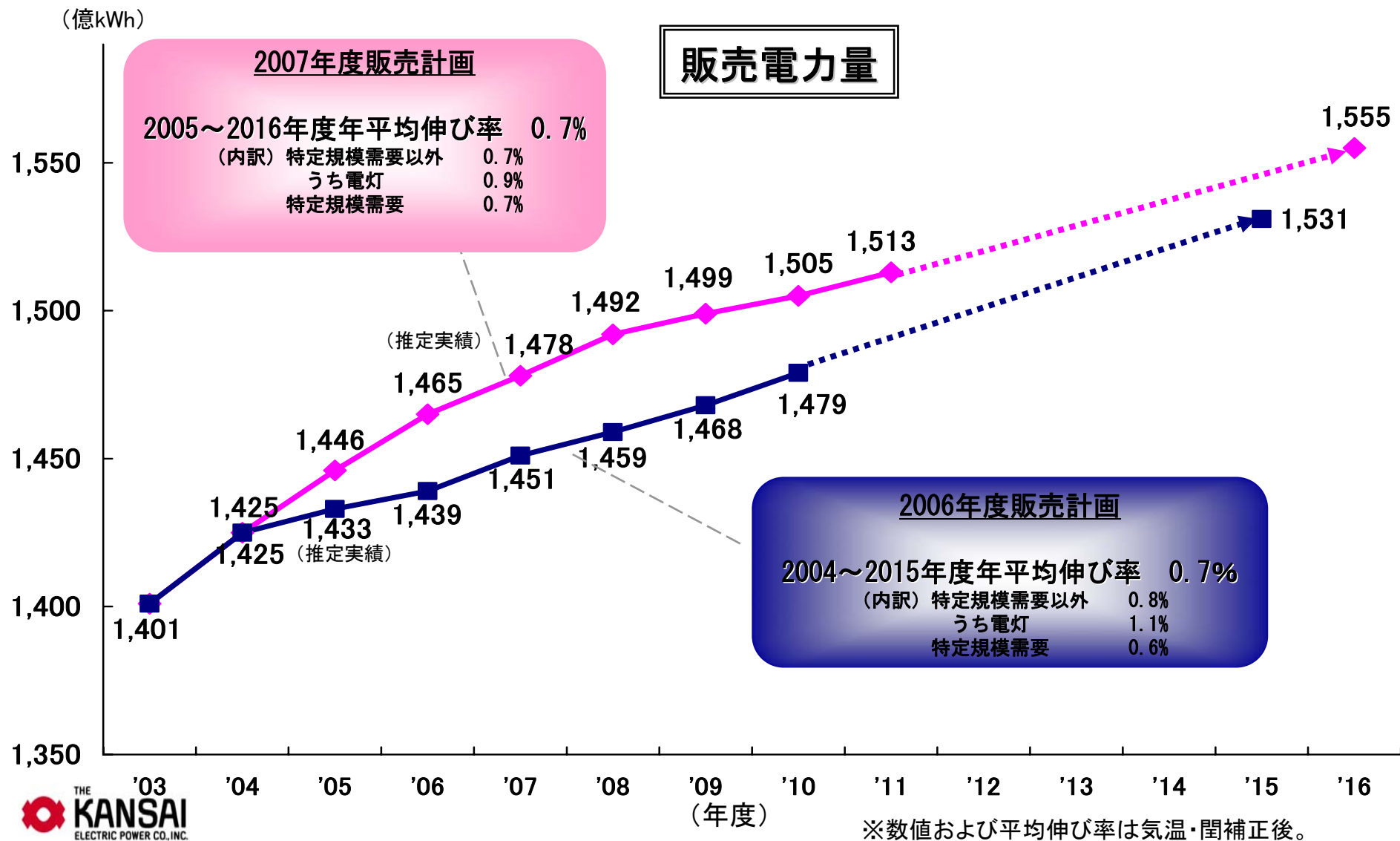
事業活動の根幹

質の向上+量的拡大

『お客さま満足No. 1企業』へ

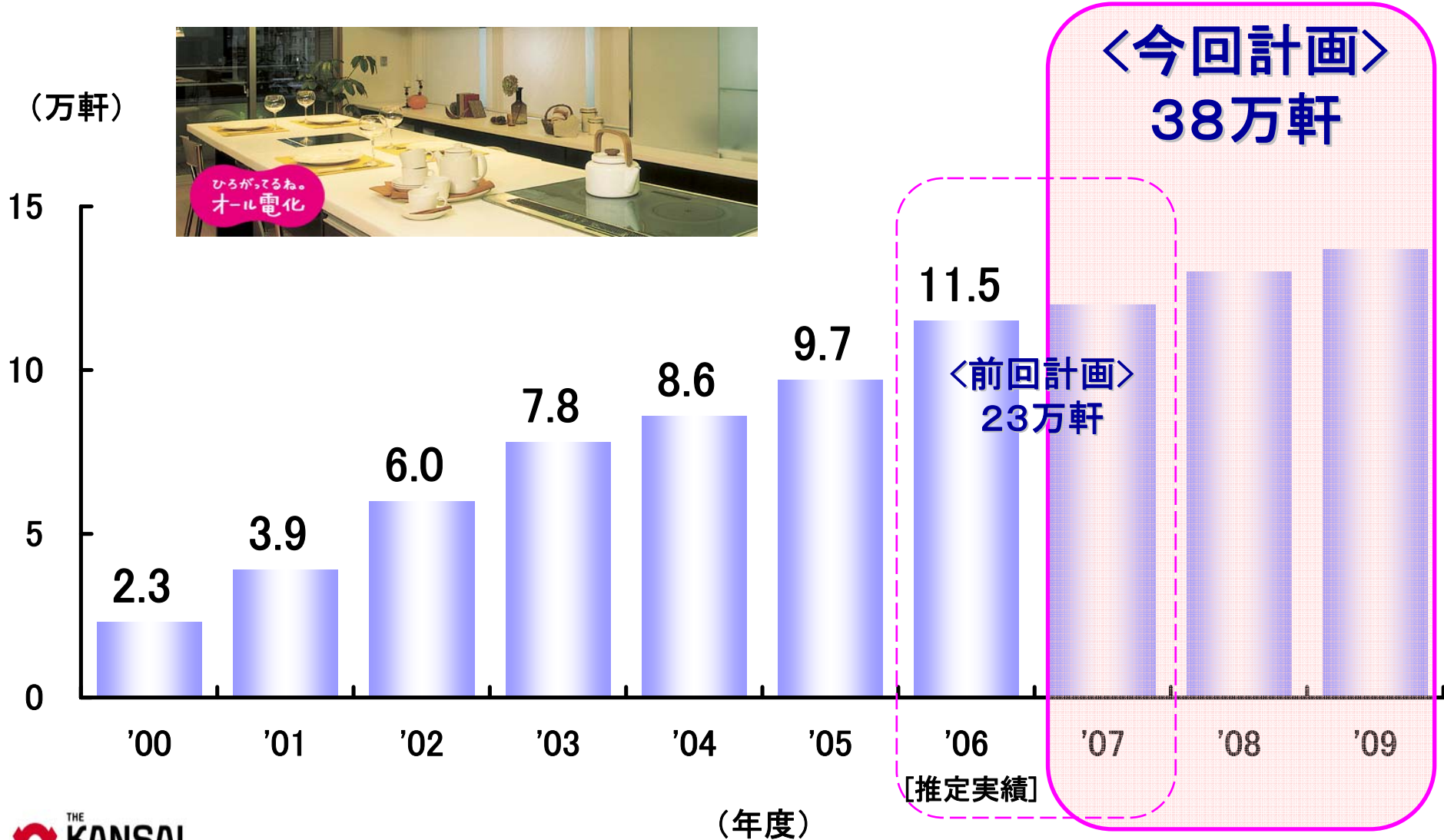
関西電力グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指す

今後の電力需要は、民生分野を中心に緩やかに増加していくものと見込んでおります。



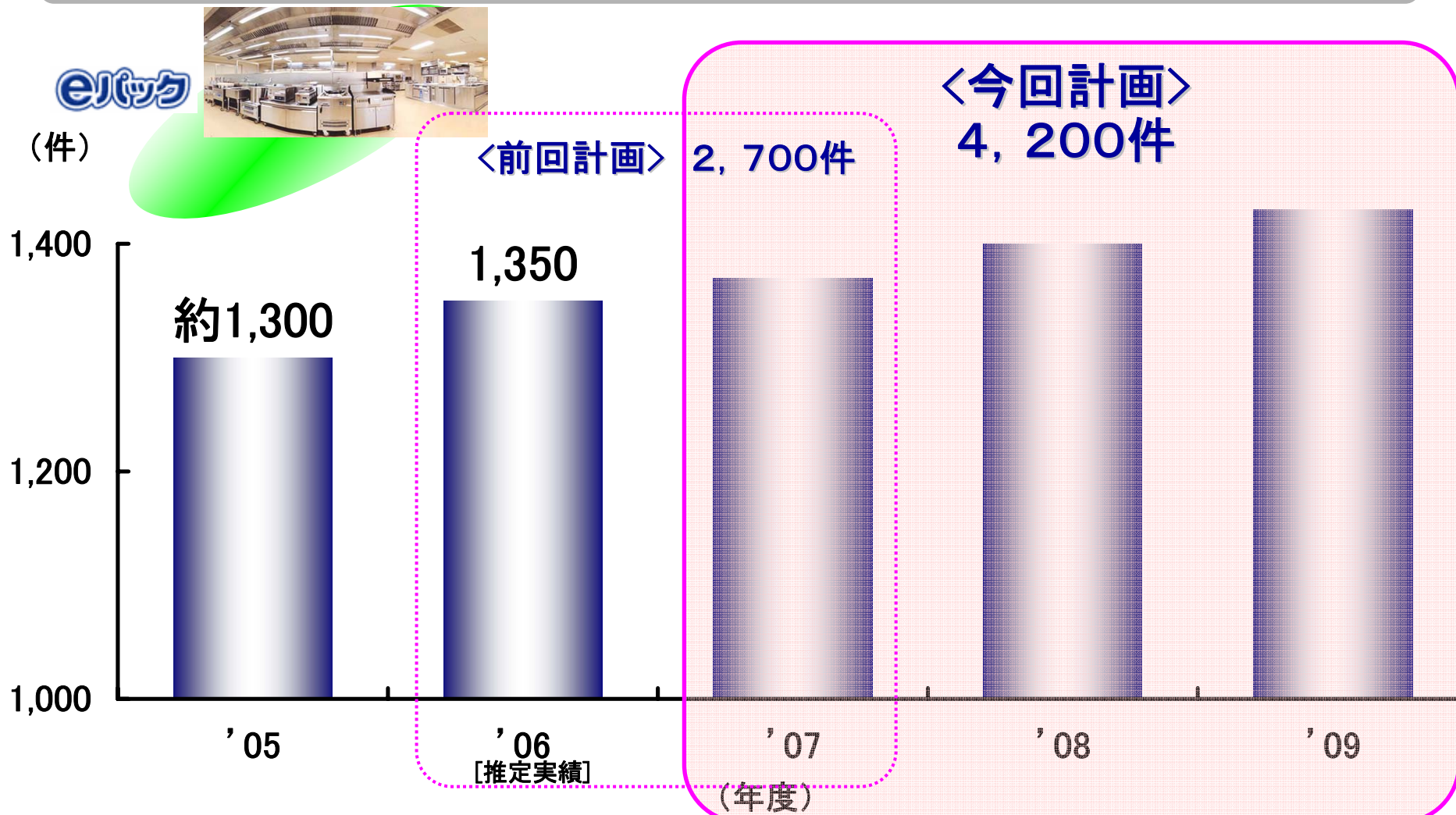
グループの総合力によるお客さま価値の創造 オール電化住宅獲得件数

2007～2009年度の合計でオール電化住宅38万軒の獲得を目指します。



※単年度毎のオール電化成約に至った件数

2007～2009年度の合計で、蓄熱システムをはじめとする電化機器・システム4,200件(※)の獲得を目指します。



ご家庭のお客さま

多彩で魅力ある商品の開発を推進

- 環境性や省エネ性に優れた「エコキュート」の
より一層の高効率化・コンパクト化

オール電化の快適なくらしの実現をサポート

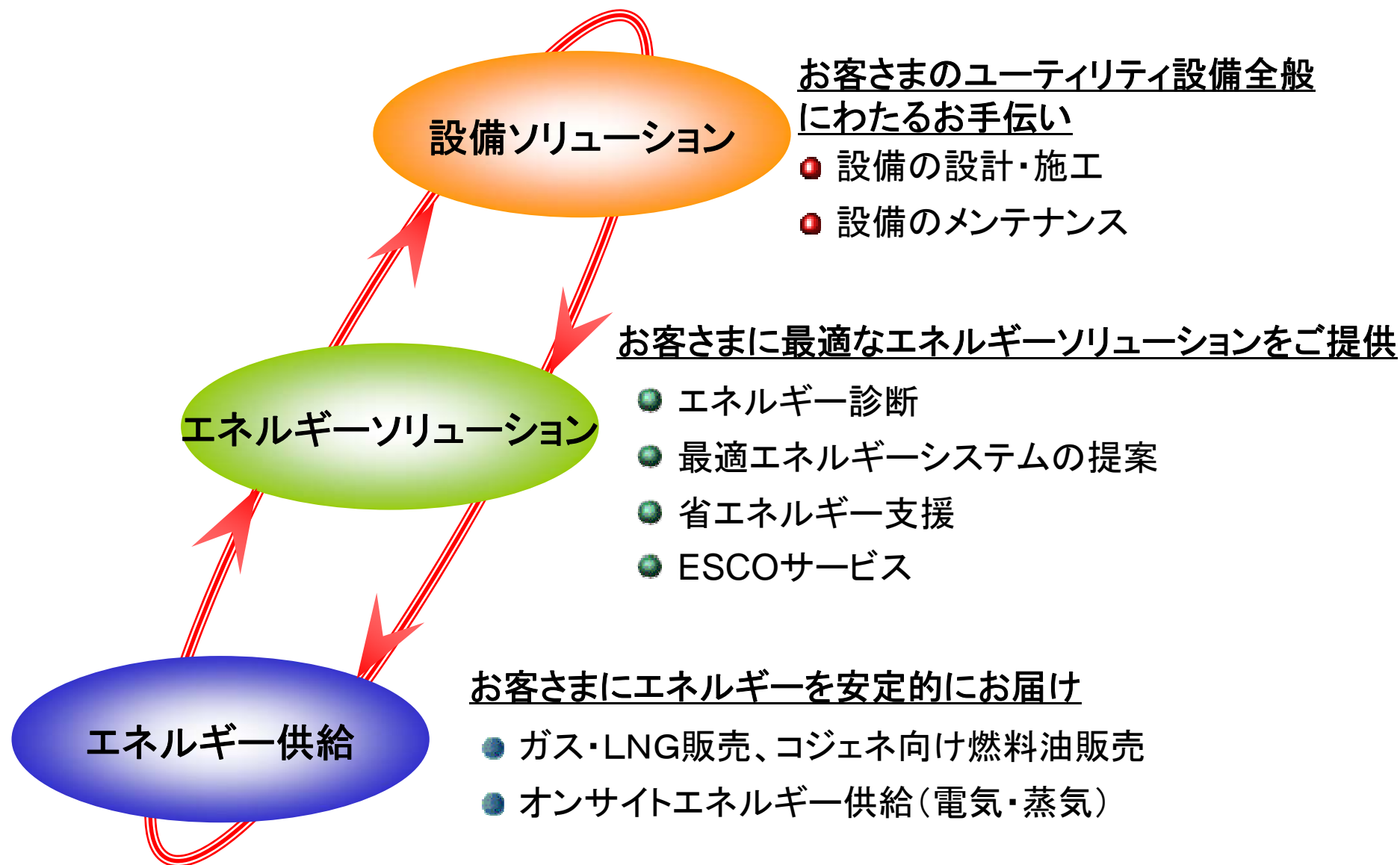
- 電化リフォーム費用のクレジットサービス「はぴeリフォームローン」



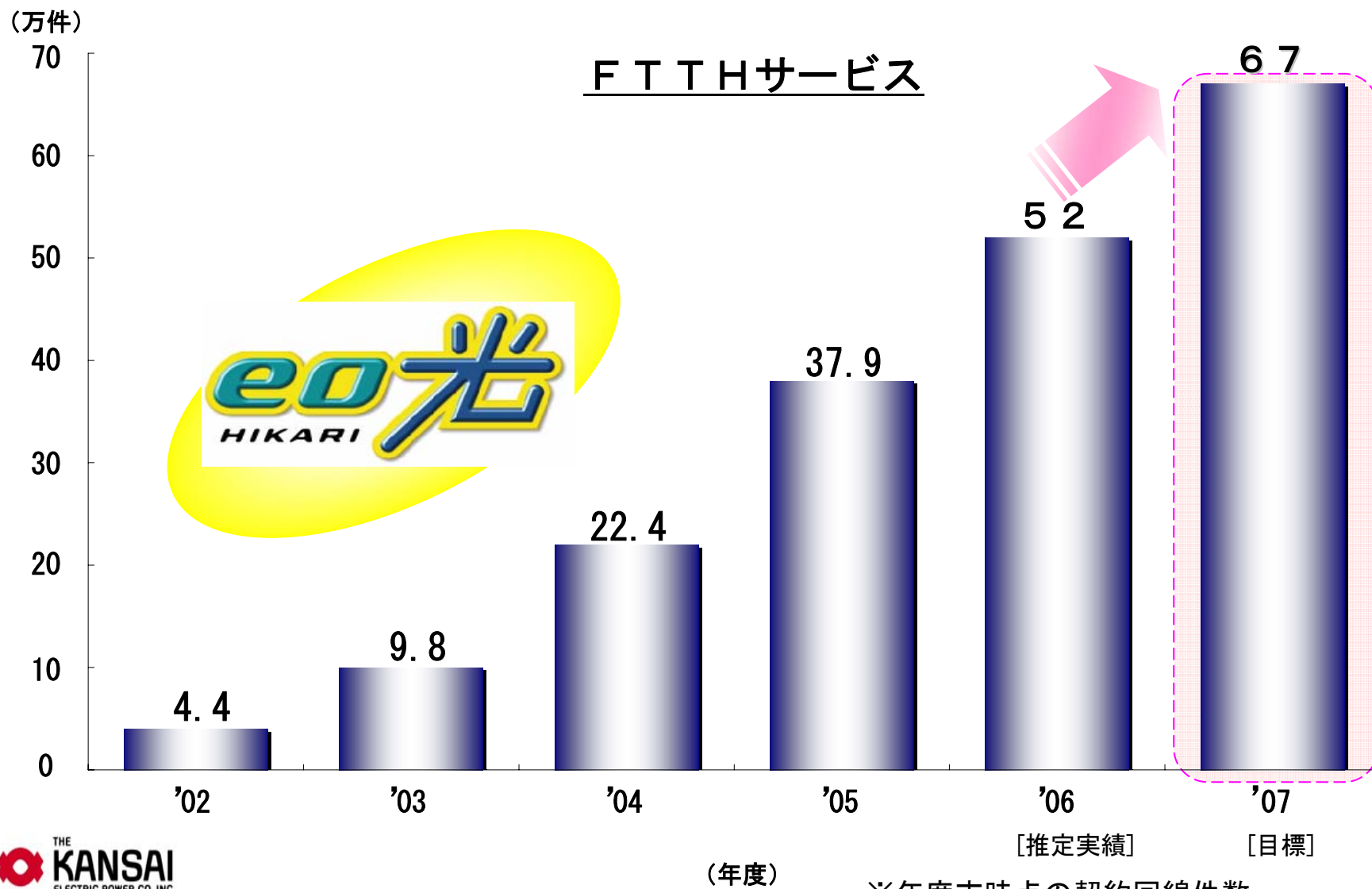
法人のお客さま

お客さまの様々なニーズに応じた最適なサービス・メニューの提供

- 省エネ・省CO₂に関するコンサルティングやエネルギー診断
- 空調、給湯、厨房などの電化機器・設備全般を対象としたリースサービス「eパック」



F T T Hの契約回線数は着実に増加しており、2007年度末で67万件を目指します。



効果的なトータルソリューションサービスの提供

住宅関連事業の推進

オール電化住宅の分譲・賃貸

住宅性能評価

電化機器の販売

リフォーム

生活関連サービスの展開

ホームセキュリティ

介護

決済

給食

健康管理支援

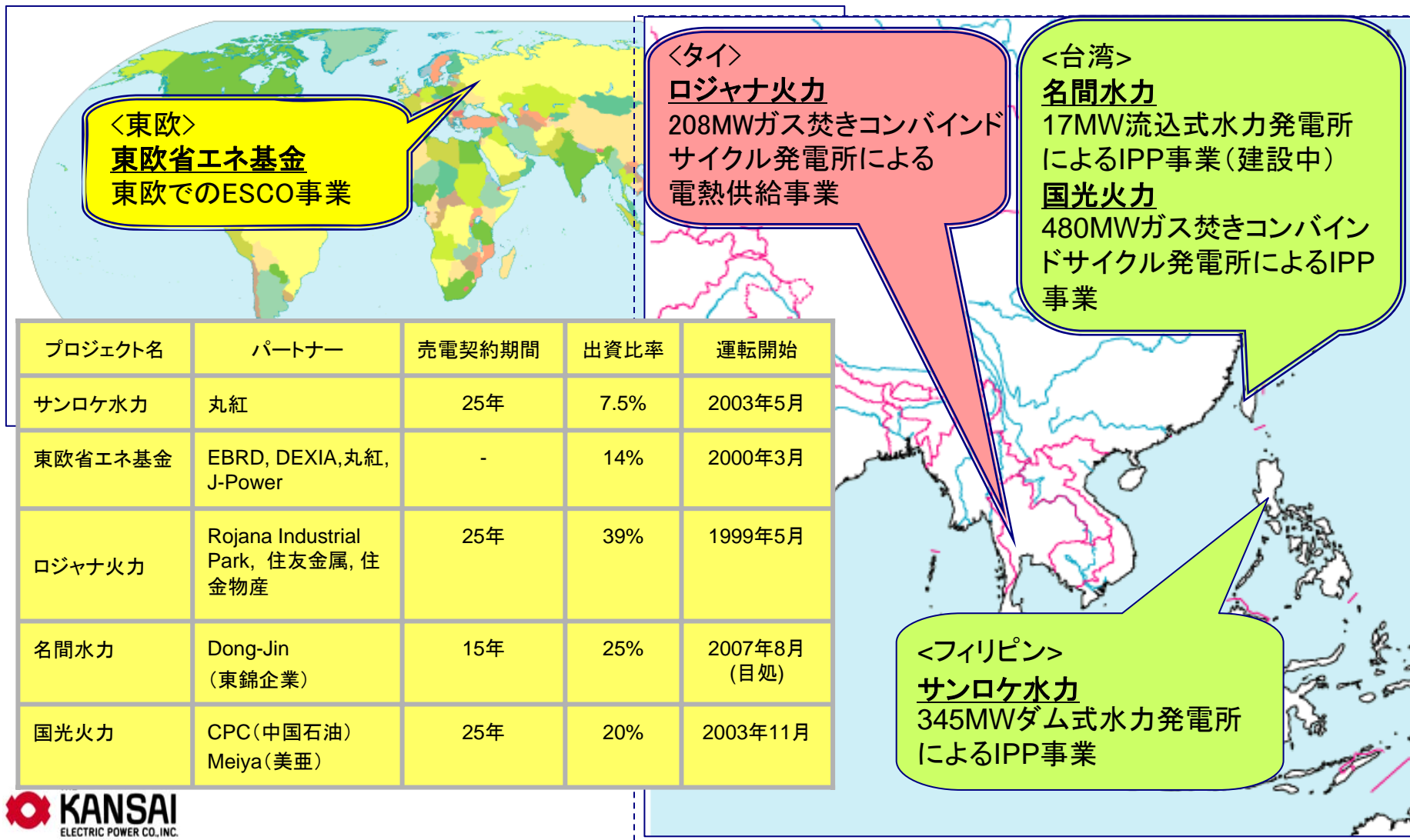
快適な住まいづくりをお手伝い

お客さまの生活との接点を強化

付加価値の高い生活環境づくり

オール電化推進

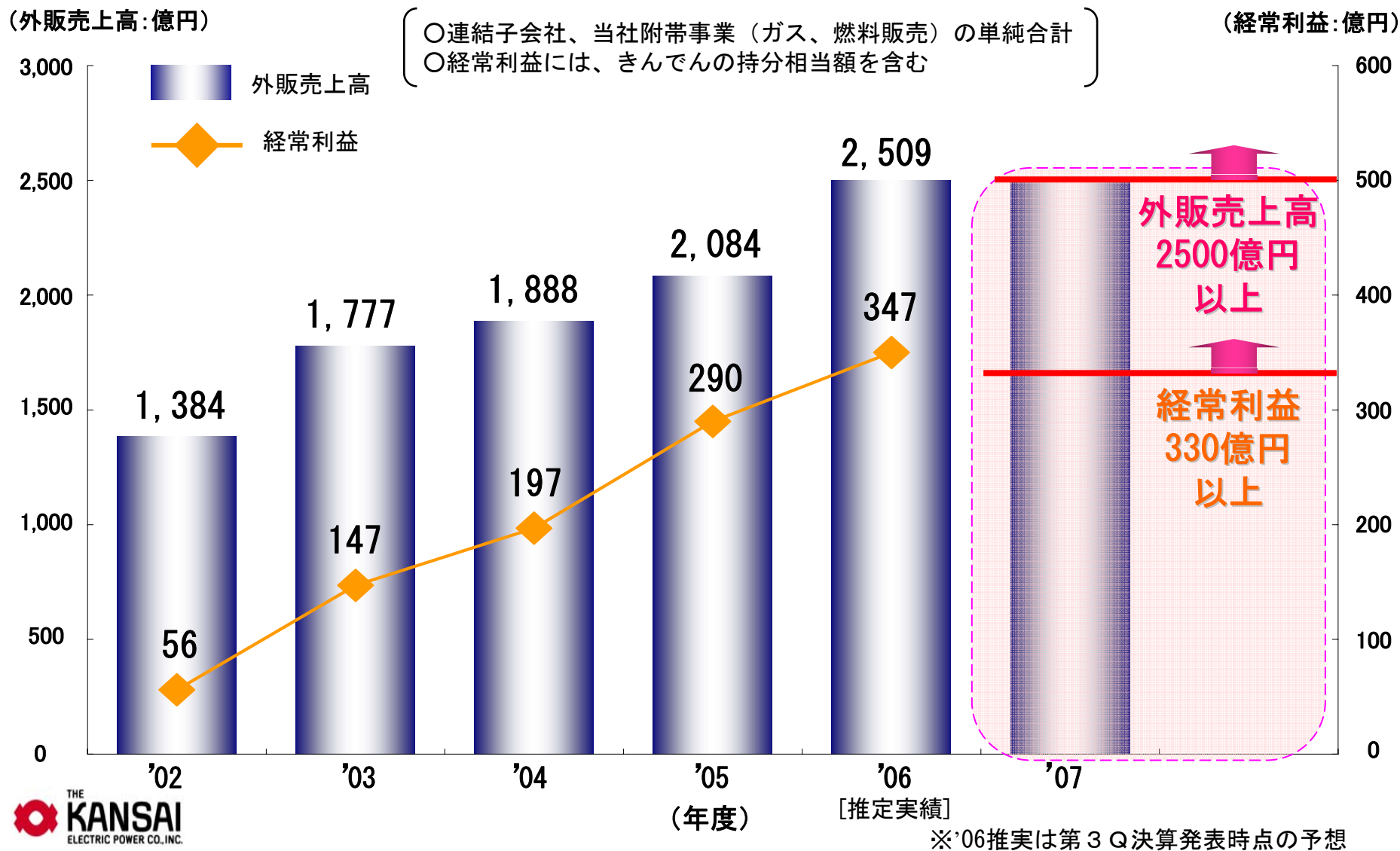
電気事業に関する技術・経験の蓄積を活用し、
収益性を重視した海外電力事業開発に積極的に取り組んでまいります。



グループの総合力によるお客さま価値の創造

グループ事業の外販売上高・経常利益

2007年度の外販売上高、経常利益の目標について、引き続き達成を目指してまいります。



(自社開発分)

発電所名	出力 (万kW)	運転開始	備考
舞鶴2号(石炭)	90	2010.8	工事中
堺港1号～5号(LNG)	200	2009.4 ～10.10	工事中
和歌山(LNG)	370	2017年度以降	着工準備中

(他社受電分)

発電所名	出力 (万kW)	運転開始	備考
敦賀(原子力) <日本原子力発電(株)>	3号	153.8	関西・中部・北陸 三社で受電
	4号	153.8	

長期に亘り安定した需給の維持を図るため、適正な供給力の確保に努めます。

○8月最大電力バランス

	2006 (実績)	2007	2008	2009	2010	2011	2016
需要 (万kW)	2,953	2,985	3,001	3,011	3,021	3,034	3,099
供給力計 (万kW)	3,240	3,311	3,361	3,306	3,284	3,302	3,439
供給予備率 (%)	9.7	10.9	12.0	9.8	8.7	8.8	11.0

○原子力利用率

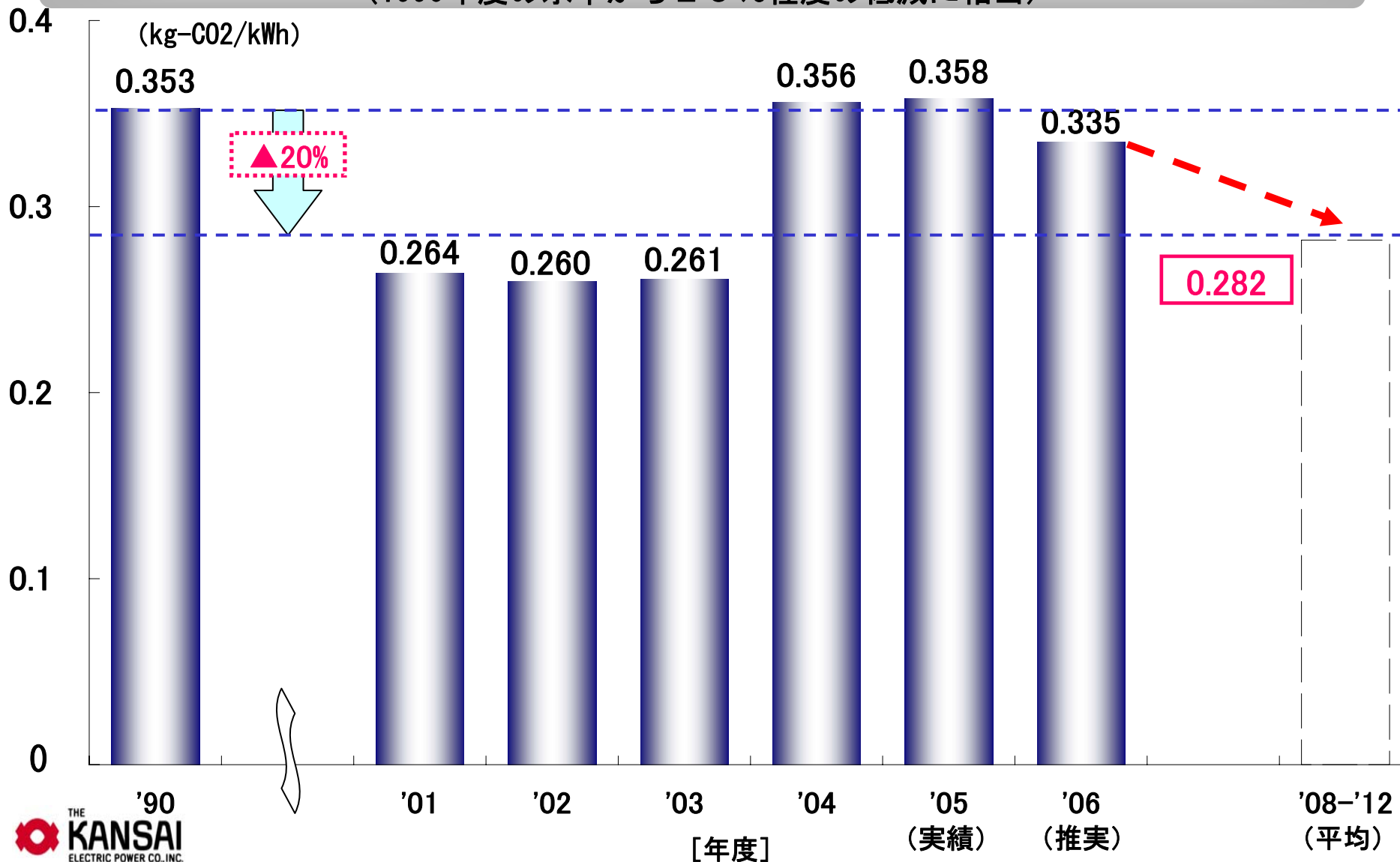
	2006 (推定)	2007	2008	2009
原子力利用率 (%)	77.1	81.6	81.9	82.4

○長期計画停止対象ユニット (2007年度末)

発電所名	ユニット	出力 (万kW)
相生	2、3号	75.0
宮津	1、2号	75.0
海南	2、4号	105.0
多奈川第二	1、2号	120.0
計	8ユニット	375.0

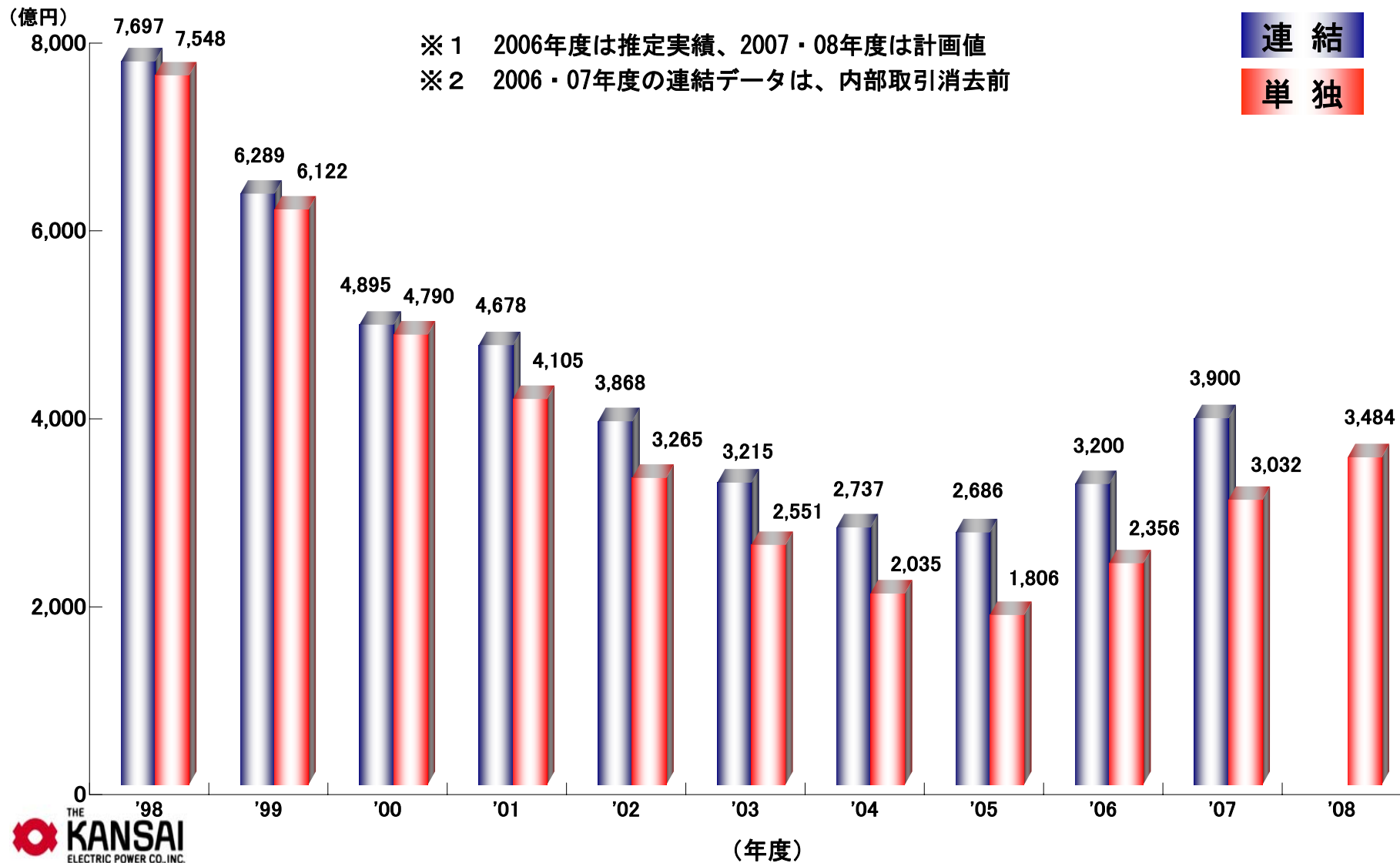
CO₂排出原単位の低減

2008～2012年度平均で 0.282kg-CO₂/kWh 程度まで低減することを目標として設定
(1990年度の水準から 20%程度の低減に相当)



設備投資額の推移

安全の確保を最優先に、資産効率の向上を目指す一方、競争力強化に資する設備投資を積極的に実施。



設備投資額の前回計画との比較(中長期計画関連)

【電気の安定供給】

- 原子力発電所の高経年化対策の推進 : 約70億円
 (タービンロータ取替工事
 原子炉容器上蓋取替工事
 2次系熱交換器他取替工事
 電気計装関連の取替 等)

【商品の品質やサービスの水準の維持・向上】

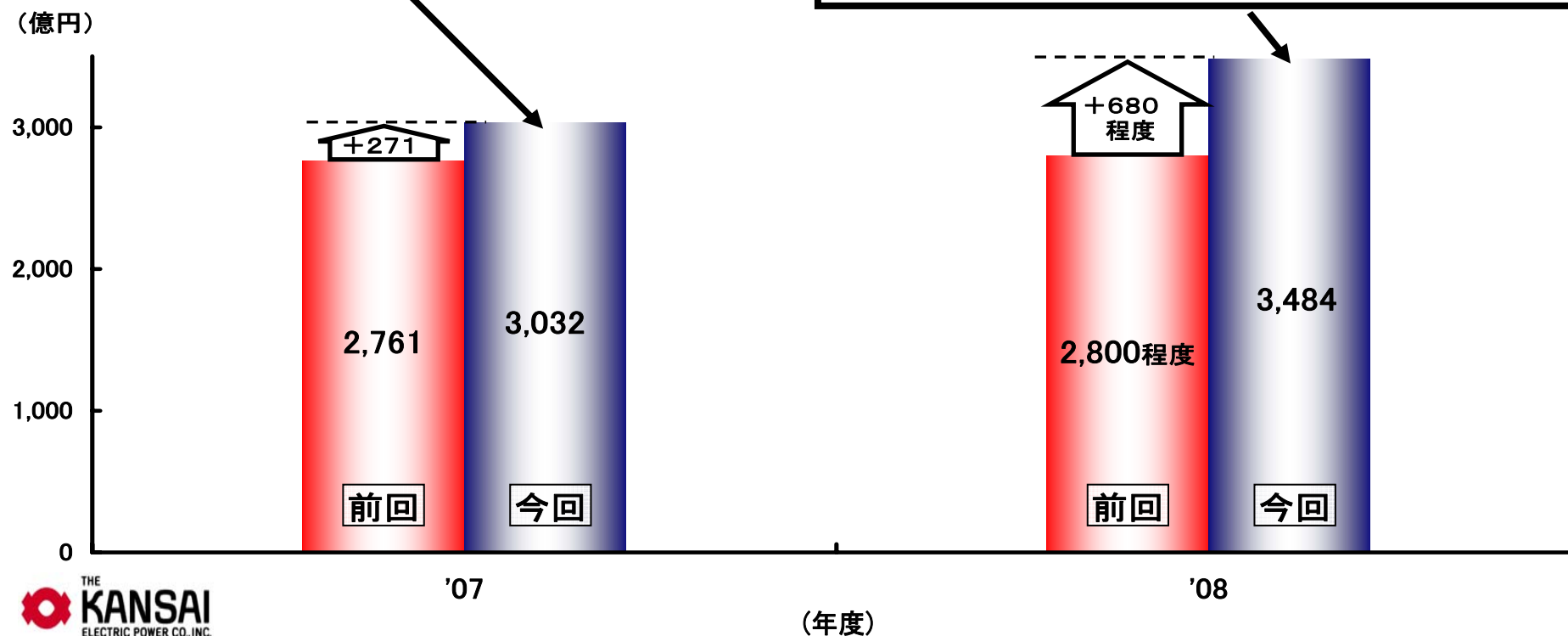
- お客さまサービスの充実 : 約10億円
 (新計量システムの導入 等)

【電気の安定供給】

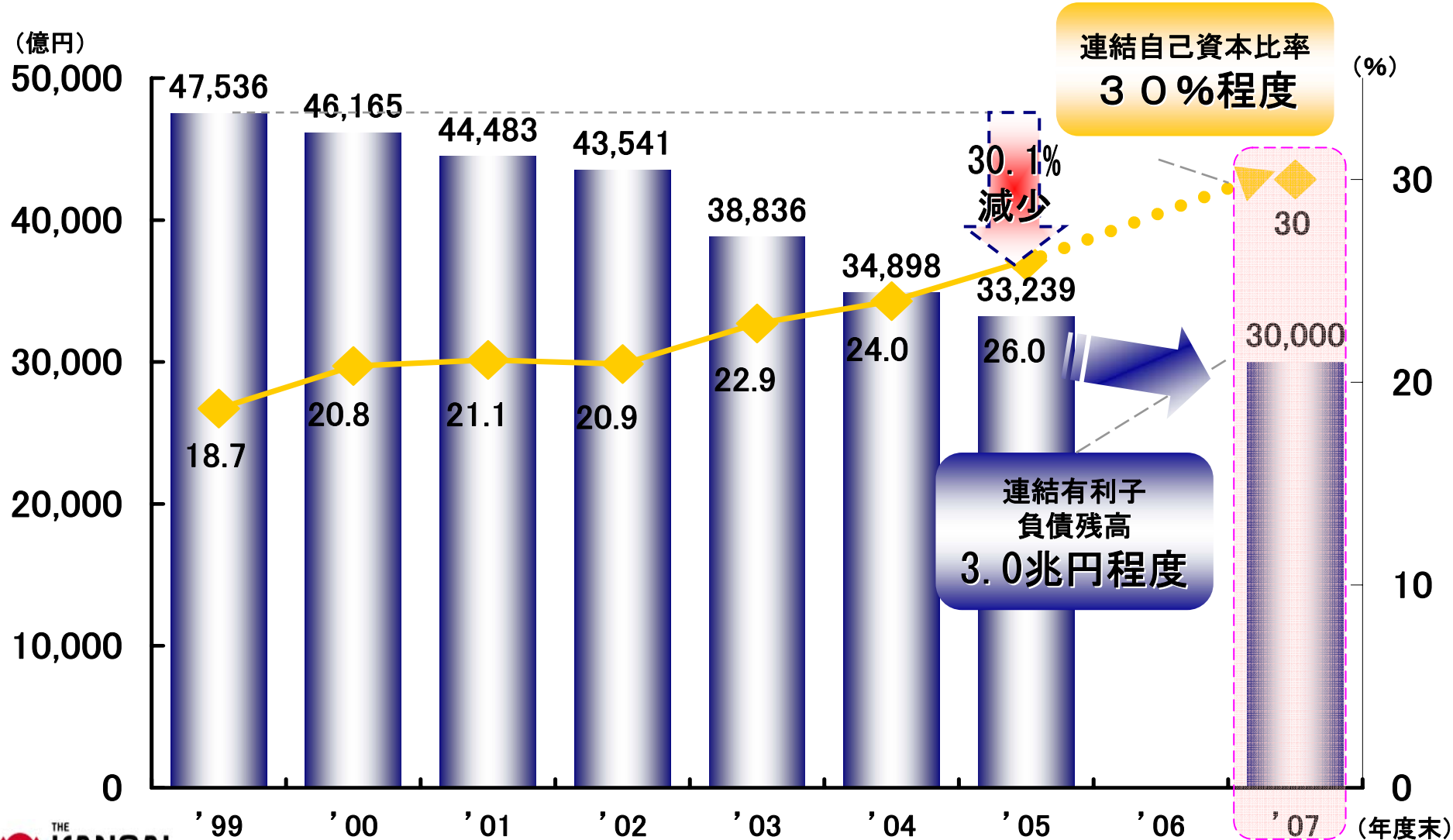
- 原子力発電所の高経年化対策の推進 : 約140億円
 (タービンロータ取替工事
 原子炉容器上蓋取替工事
 2次系熱交換器他取替工事
 電気計装関連の取替 等)
- 送変電設備の改修増 : 約130億円
 (変圧器、遮断器、電線等の計画的な取替え 等)

【商品の品質やサービスの水準の維持・向上】

- お客さまサービスの充実 : 約70億円
 (新計量システムの導入 等)



2つの財務体質強化指標を設定し、2007年度末での達成を目指します。



設備投資計画(単独)－2007年度経営計画

参 考

(億円)

		2006年度 (推定実績)	2007年度	2008年度
電 気 事 業	電源	869	1,138	1,379
	送電	300	408	416
	変電	214	271	310
	配電	320	342	336
	その他	149	247	295
	計	1,852	2,406	2,736
	原子燃料	450	585	683
	電気事業 計	2,302	2,991	3,419
附帯事業		54	41	65
総計		2,356	3,032	3,484

ご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

担 当： I Rチーム 谷口、岡野、平田

電話番号： 06-7501-0315

050-7104-1818 (谷口)

050-7104-1812 (岡野)

050-7104-1815 (平田)

F A X： 06-6447-7174

e-mail： taniguchi.hideaki@a2.*****.co.jp (谷口)

okano.ryuji@e3.*****.co.jp (岡野)

hirata.soichiro@a5.*****.co.jp (平田)

「*****」には「kepco」と記入してください。

本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。